

東京音楽コンクール入賞者リサイタル

Kazunari Suzuki Bassoon Recital

～バスーンで東京音楽コンクール木管部門初の第1位

歴史を変えた奏者が拓く新たな世界～

A. ヴィヴァルディ：バスーン協奏曲 変ロ長調 RV502
Antonio Vivaldi : Bassoon Concerto in B flat major RV502

I. ユン：モノローグ
Isang Yun : Monologue for bassoon

C. シューマン：3つのロマンス op.22
Clara Schumann : 3 Romances op.22

H. ヴィラ-ロボス：7つの音のシランダ
Heitor Villa-Lobos : Ciranda of the seven notes

他

第13回東京音楽コンクール木管部門第1位

バスーン **鈴木一成**
SUZUKI Kazunari, Bassoon

ピアノ **松山玲奈**
MATSUYAMA Reina, Piano

2021 **3/8** 月
19:00開演 (18:00開場)

東京文化会館小ホール

JR上野駅 公園口改札から徒歩1分

【主催】

“K” concert office

【共催】

公益財団法人東京都歴史文化財団
東京文化会館

【後援】

公益財団法人
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
THE ORCHESTRA JAPAN

【宣伝協力】

管楽器専門店 ダク
ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
日本ダブルリード株式会社
ノナカ・ダブルリードギャラリー

©Maverick Watanabe

■チケット 全席指定

発売日：2020年11月16日(日)

一般 3,500 円

学生 1,500 円

東京文化会館友の会会員
3,000 円

【チケットお申し込み】

東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 t-bunka.jp

【お問い合わせ】

“K” concert office(神崎)

Eメール：bs_n_recital@yahoo.co.jp

最新演奏会情報：https://fb.com/K.concert.office/



Kazunari Suzuki Bassoon Recital

私の人生に訪れた大きな転機 _____。

それは第13回東京音楽コンクールでの優勝だった。

そして5年間、神奈川フィル、THE ORCHESTRA JAPANの首席奏者として研鑽を重ね、いま再びあの舞台に立つ。

私を大きく飛躍させてくれた思い出の地で、
万感の想いを込めた演奏を聴いていただきたい。

鈴木一成



鈴木一成 バスーン

SUZUKI Kazunari, Bassoon

三重県出身。2009年愛知県立芸術大学卒業。第40回卒業演奏会出演。11年桐朋学園大学研究生修了。青谷良明、岡本正之の各氏に師事。第147回日演連主催新人演奏会出演、中日賞受賞。NHK-FM『リサイタル・ノヴァ』出演。第30、33、36回日本管打楽器コンクールファゴット（バスーン）部門入選、第13回東京音楽コンクール木管部門第1位、第29回宝塚ベガ音楽コンクール木管部門第1位、並びに兵庫県知事賞受賞、第1回日本ファゴットコンクール第2位。ソリストとして名古屋フィル、神奈川フィル、新日本フィル、東京フィルと共演。新日本フィルの契約団員を1年間務め、13年5月より神奈川フィル、15年4月よりTHE ORCHESTRA JAPAN各首席奏者。洗足学園音楽大学非常勤講師。

松山玲奈 ピアノ

MATSUYAMA Reina, Piano



桐朋女子高等学校音楽科ピアノ専攻、桐朋学園大学を経て、桐朋学園大学院大学を首席にて修了。これまでにソロを片岡ハルコ、林秀光、東誠三、三上桂子、野島稔、室内楽を岩崎淑、岩崎洗、藤原浜雄、野島稔の各氏に師事。日本各地の音楽祭や、マスタークラス、コンクールの伴奏を務める。現在桐朋学園大学音楽学部嘱託演奏員。国内外でソロや室内楽、ソリストとの共演など幅広く活動している。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や検温など、ご理解とご協力をお願いしております。「東京文化会館へご来場される皆さまへのお知らせとお願い」をお読みの上、ご来場くださいますようお願いいたします。
t-bunka.jp/info/5673

